



まちの「いいところ」を
「#ぐっとみはら」を
つけて投稿しよう!

ちびっ子も大興奮の船上景色!



記事を担当した
編集部長
ゆう

三原の好きなところ
豊富な交通インフラ

活動の抱負
三原歴10年目。もっと三原
を知りたいです!



Instagramで
情報発信中!



今年大注目の あの島へ!

第32回トライアスロンさぎ
しま大会が8月20日に4年ぶ
りに開催されること発表さ
れ、今年の夏は佐木島が盛り
上がりそう!ということで、
子どもたちと一緒に須波港か
ら佐木島・向田港へ行ってみ
ることにしました。須波港か
らはフェリーが発着していま
す。港のそばには売店や小さ
な公園もあって待ち時間も快
適に過ごせます。切符売り場
で乗船券を購入したらいいよ
よ乗船です!



子どもたちにとって船旅は
非日常!興奮した様子で2階
の船室に上っていきます。デッ
キで風を感じながら「海がキラ
キラ!」「あっちの景色も見て
みよう!」「船が見えるよ」と
大興奮で過ごしました。佐木島
に到着するまでの18分間、とに
かくずっと景色が素晴らしいか
つたです。市外から観光で来る
人にも勧めたいと思いました。
今年の夏は家族や友だちと一
緒に佐木島へ出掛けてみてく
ださい。

船からの景色に 子どもの反応は?

ぐっとみはら
編集部とは?

市民や市にかかわる人たちが
集まり活動するまちの広報
チームです。三原の魅力
を発掘・発信しています!

まちびとライター



西本さん 横田さん

「このまちが好き!」まちびとライターが行く

三原の盛り人

vol.8

地域を盛り上げている人や、祭りなどの伝統行事を守り続けている人たちの思いを伝えます。



ホテルにとってうれしいことや嫌な
ことを子どもたちに伝える生態講座



育てたホテルの幼虫を川に放流す
る子どもたち

「三原市公式note」
で記事掲載中!



Q どんな活動をしていますか?

学校や放課後こども教室の
依頼で、子ども向けにホテル
の生態講座を開いています。
観賞シーズン前の5月には、
町内の仲間と観賞場所の草刈
りや川に落ちないようにロー
プ張りをして、ホテルを見学
しやすい環境を整えます。今
年は4年ぶりに地元の子ども
たちと一緒に、ホテル観賞な
どを行う「ホテル祭り」を開
催する予定です。



今回の盛り人

久井町江木地区

ホテルの保護活動
米持 清さん

Q ホテルの保護活動を始めたきっかけは?

私が御調中央小学校の校長
として勤めていた平成16年に、
河川の大規模工事がありまし
た。その川で生息していたホ
タルの絶滅を防ぐため、児童
と地域が協力して校内にホタ
ルが生息できるビオトープを
作り、保護したことがきっか
けです。その経験をもとに、今
も地元の久井町江木地区で、
ホテルの保護や自然環境を守
る活動をしています。



献血にご協力
お願いします

今は元気に過ごしている人も、将来的には病気になる可能性も、事故に遭ったりする可能性もあります。そのときは、出会ったことのない人の血液に救われることもあるかもしれません。

今月は献血がテーマです。自分の血液を提供することで、多くの患者さんの命を救うことにつながります。治療に使われる輸血用血液製剤の原料となる血液は、人工的につくることができず、全て献血で得られた血液でまかなわれています。

しかし、出掛けたくても出掛けられない人たちがいます。家族や医療関係者などに支えられながら病氣と闘っている人たちです。そんな人たちの役に立てる身近なボランティアの一つに、献血があります。

木々の新緑がまぶしい季節となりました。この季節は出掛けるにも心地よく、サイクリングやツーリング、ウォーキングなどで自然を感じながらすがすがしい汗を流すのもいいかもしれません。



私自身も年に3回、男性が年間を通じて採血できる最大量の1200ミリリットルを献血しています。また、SNSなどでも献血への協力を呼び掛けています。献血は、基準を満たした16歳から69歳までの健康な人なら誰でも行うことができます。16ページの「健康ひろば」やホームページでも献血の日程を掲載していますので、ご確認いただき、ぜひ献血にご協力ください。



▲市HP



こちら三原市消防本部!



▲市HP

☎ 消防本部 (0848-64-5910)



島と海を守る

6機関、のべ70人が参加した合同潜水訓練



潜水士=海猿?海保?いえいえ、三原消防にも潜水士がいるんです。

1月に、海難事故を想定して海上保安部と合同訓練を実施。潜水服に身を包んだ隊員は水温10度、水深7メートルの海で、平行捜索など3つの人命救助訓練に取り組みました。

海や河川、ダムなど活動場所はさまざまです。あらゆる災害に対応できるよう、一人ひとりがスキルアップを図っています!

PICK UP!
救急艇「かもめ」



前後左右に動けます!

救急艇は、海を走る救急車。鷺浦町(佐木島・小佐木島)の救急体制の充実と、沿岸海域での水難事故などに対応できるよう配備されています。前後の動きだけでなく、スラスターという機能で左右への移動も可能です。三原港から佐木港まで約15分で到着!

いざという時の緊急連絡

子どものけがや病気に
関する相談

小児救急医療電話相談
(#8000)

時 19時~翌8時

FAX での緊急通報も
できます
(119番)

いつもと様子が違う、
おかしい場合は
迷わず119を!

もしものときの
救急車利用
マニュアル▶

